学校番号	１００７

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
講座名	国語総合						
使用教科書	新編　国語総合（東京書店）						
副教材等	改訂版　漢字検定７～２級対応　書きたくなるアシスト常用漢字（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

評論や小説、エッセイ、詩歌など幅広い分野の作品を読み、さまざまなものの見方、考え方に触れていきます。また、自分の意見を自分の言葉で表現するトレーニングを積みます。古典の分野では、古文を読んでいくための基礎的な学習に力を入れます。古語になれること、古文の響きになれること、文語文法を身につけること、そして、古典の世界観に触れることなどに取り組んでいきます。論理コミュニケーションでは、論理的に読み解き、考え、表現する力を養います。『産業社会と人間』や『課題研究』、そして進路実現のための小論文などに欠かせない力となります。

２　学習の到達目標

・語彙力をつける。
・文章を論理的に読み解き、あるいは相手の話を論理的に理解し、論理的に考え、表現する力を身につける。
・さまざまな文章を通して社会のさまざまな問題にであい、自分の意見を持つ。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c: 書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	小説や随筆などの文学作品をはじめ、評論など、できるだけ多くの文章を読み込み、文学に対する関心を高めるとともに、言葉で自ら発信することへの関心を高めている。古典の世界への関心を高めている。	他者の発信している言葉を敏感にとらえている。論理的に考え、論理的に読み解き、論理的な文章を書く、話すことで、自分の思いや意見を他者に伝えることに努めている。	「論理コミュニケーション」の設計図をしっかり踏まえ、論理的な思考のもとに、論理的な文章を構成することに取り組んでいる。	小説や評論などの様々な文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えをより深め、発展させている。	古典の世界を理解するために、文語文法や古語について知識を増やしている。古典の世界への関心を高めている。漢字や語句の意味など、語彙を拡大することに努めている。
評価方法	行動の観察 ノート・ワークシートの点検	行動の観察 ワークシートの点検 プレゼンテーション・発表などの評価	ワークシートの点検 定期考査	ワークシートの点検・分析	行動の観察 ノート・ワークシートの点検 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1ターム	随想	【つながりを生きる】 随想「待つということ」	○			◎	○	a：随想の文章についてエピソードや表現から筆者の体験を想像する。 d：構成を意識して随想を読み、海外と日本との経験を通して筆者が考えたことを読み取る e：本文中の漢字や語句の意味を適切に理解している。	a:行動の観察およびノート点検 d:ノート点検 e: 小テストおよび定期考査
	評論	【豊かに生きる】 評論「未来をつくる想像力」	○	◎			○	a：評論の文章について論理の展開や要旨を的確に捉える。 b：情報の過剰が想像力の貧困に繋がるという筆者の主張を理解し、そこからどのような解決方法があるかを模索する e：本文中の漢字や語句の意味を適切に理解している。	a:行動の観察およびノート点検 b:発表 e: 小テストおよび定期考査
	古文入門	【古文の世界へ】 説話「宇治拾遺物語－児のそら寝」	○			◎	◎	a：古文への関心を深め、歴史的仮名遣いに注意しながら音読している。 d：児と僧たちのそれぞれの思いを読み取っている。 e：歴史的仮名遣いや文語文法について理解している。	a:行動の観察 d:ノート点検 e:ノート点検
	文章の設計図の習得①	論理コミュニケーション「文章の設計図」	○	○	◎			a：論理的に文章を読み解き、考え、論理的な文章で発信することでコミュニケーションを深めることができることを理解しようとしている。 b：他者の話に耳を傾け、ワークに臨んでいる。 c：論理コミュニケーション「文章の設計図」を習得しようとしている。	a:ワークシートの点検および行動の観察 b:ワークシートの点検および発表の評価 d:ワークシートの点検
2ターム	小説	【葛藤する心】 芥川龍之介「羅生門」	◎	○		◎	○	a: 追い詰められた状況の中での、人間の考え方や心の動きについて考えようとしている b：人物の考え方の変化について、自分の意見を他者と伝え合う d: 比喩表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化、それが意味するものが何であるかを理解している。 e:本文中の語に注意し、語句の意味を適切に理解している。	a:ノート点検およびワークシートの点検 b:行動の観察およびワークシートの点検 d:ノート点検 e:小テストおよびノート点検

	枕草子	【日々の思い】 「うつくしきもの」	○			◎	○	a:作者のものの見方や感じ方を自分と対比しながら考えようとしている。 d: 本文の内容を読み取り、筆者の主張や本文の面白さを理解している。 e: 用言の活用や係り結びなど基本的な文法事項を理化している。	a:行動の観察およびノート点検 d:ノート点検 e:ノート点検
	文章の設計図の習得②	論理コミュニケーション 「文章の設計図」	○	○	◎			a:論理的に文章を読み解き、考え、論理的な文章で発信することでコミュニケーションを深めることができることを理解しようとしている。 b:他者の話に耳を傾け、ワークに臨んでいる。 c:論理コミュニケーション「文章の設計図」を習得しようとしている。	a:行動の観察およびワークシートの点検 b:行動の観察およびワークシートの点検 d:ワークシートの点検
3ターム	小説(2)	【葛藤する心】 鷺沢萠「ほおずきの花束」	○			◎	○	a：小説の面白さを読み取ろうとしている。 d：本文の内容に即して登場人物の心理の変化を読み取っている。 作品描写の表現効果について理解を深めている。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察およびノート点検 d:ノート点検 e:ノート点検および定期考査
	物語	【古人の生き方】 「絵仏師良秀」	○			◎	○	a: 作者のものの見方や感じ方を自分と対比しながら考えようとしている。 d：話の展開に即して内容を理解し、登場人物の行動や心情を読み取ることができている。 作者のものの見方や感じ方を自分と対比しながら考えることができる。 e: 基本的な古典文法を理解し、内容や作者についての理解を深めている。	a:行動の観察 d:ノート点検 e:ノート点検および定期考査
	文章を論理的に読み解く	論理コミュニケーション 設計図に当てはめて、文章の構成を考える。	○	◎			○	a:積極的にワークに臨んでいる。 b:様々な文章を、「文章の設計図」に当てはめて、構成を考え、論理的に読み解き、説明することができる e:論理コミュニケーション「文章の設計図」が定着している。	a:行動の観察 b:発表 e:ワークシートの点検
4ターム	小説	【生の深みへ】 夏目漱石「夢十夜」	○			◎	○	a:本文中で表現されている「生」について読み味わおうとしている。 d：体験談の中での登場人物の心情の変化を適切に読み取っている。 e: 比喩や情景描写が表現上の効果をあげていることを理解している。	a:行動の観察 d:ノート点検 e:ノート点検および定期考査

	伊勢物語	【古典】 「芥川」	○			◎	○	a: 古文や和歌に親しみ、登場人物の心情について考えようとしている。 d: 本文の内容を理解し、物語の展開をつかんだうえで登場人物の行動と心情を読み取っている。 物語の面白さを理解している。 e:和歌の修辞や語句の意味、用法を理解している。 「恋愛」「結婚」など現代とは異なる当時の時代背景への理解を深めている。	a:行動の観察 d:ノート点検 e:ノート点検および定期考査
	論理的な文章を書く	論理コミュニケーション 文章の設計図を遣い、自分の思いを表現する、	○	○	◎			a:論理的な文章を書くことに努めている。 b:積極的にワークに臨んでいる。 c:論理コミュニケーション「文章の設計図」が定着している。	a:行動の観察 b:ワークシートの点検および行動の観察 c:ワークシートの点検

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c: 書く能力　　d: 読む能力　　e:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。